

対象学年	高等学校 第3学年
学習指導要領	自分が伝えようとする内容を整理して、場面や目的に応じて、読み手に理解されるように書く。
単元名	Lesson 19 My Pet Peeve (全4時間)
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 写真やイラストなどの非言語手段を用いて、読み手の興味や関心をひきつける英作文作品を書く工夫をする。 ・ *Conversation Strategies を用いて、ペアでの会話活動に積極的に参加し、相手に自分の考えを伝える工夫をする。 (コミュニケーションへの関心・意欲・態度) ・ 書き加えたり、書き改めたりする過程を経て、具体例を挙げながら、自分の意見を平易な英語で正しく書くことができる。 ・ 具体的な体験談に基づき、迷惑行為について、自分の意見を整理して、適切な分量で書くことができる。 (表現の能力) ・ 迷惑行為について、自分の意見を表現するための必要な語彙や表現を身に付けている。 ・ 迷惑行為における異文化間の相違について、基本的なことを理解している。 (言語や文化についての知識・理解)
配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ○ 迷惑行為についての意見や体験談を英語で表現できるようにするために、「書く」「読む」「聞く」「話す」の各活動を結びつける。特に、「書く」活動と「話す」活動を統合することにより、読み手や聞き手を意識した情報の発信ができるようにする。 ○ 「書く」活動では、各生徒が、トピックについて、自分の考えを表現するために必要な語彙や表現を身に付けられるように留意する。 ○ 「書く」活動では、*peer-editing や*timed-conversation を通して、トピックについての自分の考えを広げていき、何度も書き加えたり書き改めたりする過程を大切にする。 ○ 「書く」過程においては、正確さより内容面を重視し、自分の意見をより詳しく述べられるように留意する。文法的な正確さについては、生徒間で相互訂正をしたり、生徒の英作文作品からよくある誤りを含んだ文を集めて紹介したりするなど、文法的誤りの訂正例をクラスで共有して学んでいくように留意する。 ○ 迷惑行為についての自分の意見を*fun-essay という英作文作品として仕上げ、作品を廊下に展示し、クラスを超えてお互いの作品を鑑賞する場を提供する。 ○ peer-editing や timed-conversation など相互活動を通して、生徒がお互いに学び合う場を創出する。 ○ ビデオ録画した会話を分析するという自己評価活動を取り入れ、生徒の気づきを大切に、自己学習能力を高める機会を与える。 ○ ワークシートや英作文は全てファイルに保管しておき、学期末にポートフォリオ評価を行う。
参考資料	資料1 先輩の英作文作品。先輩の会話ビデオ。

*Conversation Strategies : 会話を円滑にすすめるための切り出し表現、言い換え表現、聞き返し表現、つなぎ言葉など。

*timed-conversation : 例えば4分間というように時間制限を設けたペアで行う会話活動。

*peer-editing ペアや小グループで、相互訂正や内容についてアドバイスや質問をすること。

*fun-essay : トピックの最後に仕上げる英作文作品で、イラストや写真を加えたもの。

2. 単元の評価規準

	ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ 表現の能力	ウ 理解の能力	エ 言語や文化についての知識・理解
内容のまとまりごとの評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・言語活動に積極的、主体的に取り組んでいる。 ・さまざまな工夫をしながら書くことでコミュニケーションを主体的に続けようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活に関わる話題について、得た情報や自分の考えを英語で正しく書くことができる。 ・社会生活に関わる話題について、場面や目的に応じて、自分の考えを英語で適切に書くことができる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・言語やその運用についての基本的な知識を身に付けている。 ・社会生活に関わる話題について、英語の学習で取り扱われた文化について理解している。
単元における評価規準	<p>(言語活動への取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れずに多く書こうとしている。 <p>(コミュニケーション活動の継続)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・非言語手段を用いて自分の考えを伝える工夫をしている。 	<p>(正確な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き加えたり、書き改めたりする過程を経て、自分の考えを平易な英語で正しく書くことができる。 <p>(適切な筆記)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迷惑行為について、書く内容を整理し、体験談に基づいて、自分の考えを伝えられるように、適切な分量で書くことができる。 		<p>(言語についての知識)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迷惑行為についての語彙や表現を身に付けている。 <p>(文化についての理解)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迷惑行為における異文化間の相違について基本的なことを理解している。
学習活動における具体の評価規準	<p>(言語活動への取組)</p> <p>①間違いを恐れず、辞書などを用いて、多く書こうとしている。</p> <p>(コミュニケーション活動の継続)</p> <p>②書く活動では、イラストや写真などを用いて、読み手の興味や関心をひきつけるように書き、話す活動では、ジェスチャーや Conversation Strategies を用いて、会話活動を継続している。</p>	<p>(正確な筆記)</p> <p>①自己訂正や相互訂正を通して、相手にわかるように、平易な英語で正確に書くことができる。</p> <p>(適切な筆記)</p> <p>②迷惑行為について2つ選び、体験談に基づいて、伝えたい内容を整理し、15文程度の英文で書くことができる。</p>		<p>(言語についての知識)</p> <p>①迷惑行為について、自分の体験談や自分の意見を述べる時に必要な語彙や表現を身に付けている。</p> <p>(文化についての理解)</p> <p>②迷惑行為についての文化的背景や異文化間の相違を理解している。</p>

3 指導と評価の計画 (全3時間)

時	ねらい	学習活動	評価規準				評価方法	指導、援助
			ア	イ	ウ	エ		
1	<p>本時の活動を確認し、目標を設定する。</p> <p>迷惑行為についての意見を理解する。</p> <p>基本的なアイデアを生み出す。</p> <p>授業活動や授業への参加態度を振り返る。</p> <p>トピックについての自分の考えを体験談に基づいて内容を整理し、適切な量の英文を書くことができる。</p>	<p><Goal Setting></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業のはじめに、本時の活動と目標を確認し、授業での英語使用度の目標を各自設定する。 <p><Pre-listening></p> <ul style="list-style-type: none"> リストにあげてある10種類の行為について、どれくらい嫌な行為であるかペアで聞きあう。 <p><Listening></p> <ul style="list-style-type: none"> モデル会話をCDで聞き、必要な情報を聞き取る。話題になっている行為について、自分の意見や体験をペアで述べる。 <p><Introducing Two Questions></p> <ul style="list-style-type: none"> 迷惑行為を尋ねる基本的な質問を2つ導入する。迷惑行為を2つ選び、それぞれの行為について、2つの質問に1～2文で書く。 ペアでお互いに尋ねる。ペアの相手を替え、4回会話活動を繰り返す。 <p><Class Evaluation></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業での活動を評価する。 <p><Assignments></p> <ul style="list-style-type: none"> 先輩の書いた迷惑行為についての英作文を読む。 迷惑行為について Two Questions の答えを膨らませ、15文ほどの英作文を書いてくる。必要な語彙を調べ、新しい質問を2つ考え、書いてくる。 					<p><Goal Setting></p> <ul style="list-style-type: none"> 本時の活動を確認し、授業でどれだけ英語を使用するかという目標を%で設定させ、主体的に授業に取り組ませる。 <p><Pre-listening></p> <ul style="list-style-type: none"> 迷惑行為に関する異文化間の相違を理解させる。 <p><Listening></p> <ul style="list-style-type: none"> 迷惑行為についての会話場面をリスニング活動で導入し、体験談に基づき、どのように情報を交換するのか理解させる。 <p><Introducing Two Questions></p> <ul style="list-style-type: none"> 迷惑行為について、体験談を紹介しながら、自分の意見を表現させる。 書く内容を膨らませ、語彙の定着を図るために、書く活動と話す活動を繰り返し行う。 <p><Class Evaluation></p> <ul style="list-style-type: none"> 授業のはじめに設定した目標の達成度を確認させ、主体的に授業に取り組ませる。 <p><Assignments></p> <ul style="list-style-type: none"> 先輩の書いた英作文を読み、表現を参考にさせる。 自分の考えを書くために必要な語彙を、辞書で調べて書くように助言する。 	
			①			ワークシートの記入状況		

2	<p>本時の活動を確認し、目標を設定する。</p> <p>会話活動を促進するためのつなぎ言葉や聞き返し表現を練習する。</p> <p>読み手を意識して書くことを習慣づける。相互訂正をすることにより、より正しく書けるようにする。</p> <p>書いた内容を基に会話することにより、語彙表現の定着を図る。また、何度もペアの相手を替え、実際の会話場面で Conversation Strategies を使えるようにする。</p>	<p><Goal Setting></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめに、本時の活動と目標を確認し、授業での英語使用度の目標を各自設定する。 <p><Conversation Strategies></p> <ul style="list-style-type: none"> ・つなぎ言葉や聞き返しの表現を、短い会話表現で練習する。“Do you know what I mean?” “What do you mean?” ・ペアの相手を替えながら、3－5回ほど会話活動を行う。 <p><Peer-editing></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題で書いてきた英作文をペアで交換し、相互訂正をし、内容についてコメントや質問を書く。 ・ペアの相手を替えて3－4回行う。 <p><Timed-conversation></p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いたものを基に、4分間の対話活動を行う。会話が終わった後、相手が話した内容の要点を書く。 ・ペアの相手を替えて2～3回行う。 <p><Class Evaluation></p> <p>授業内の活動を評価する。</p> <p><Assignment> rewriting</p> <p>友達のコメントや質問を参考にして、内容を書き改めたり書き足したりして、英作文をもう一度書く。</p>	①	②	①	①	<p>ワークシートの記入状況</p> <p>活動の観察</p> <p>ワークシートの記入状況</p>	<p><Goal Setting></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動と目標を確認し、主体的に授業に取り組みさせる。 <p><Conversation Strategies></p> <ul style="list-style-type: none"> ・短い会話活動を、繰り返すことにより、Conversation Strategies の使い方に慣れさせる。 <p><Peer-editing></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の英作文から、語彙表現を学ぶように励ます。 ・1回目の peer-editing では、特に、英作文の内容についてコメントや質問を書き加え、内容を膨らませる努力をさせる。 <p><Timed-conversation></p> <ul style="list-style-type: none"> ・書く内容を膨らませ、語彙の定着を図るために、書く活動と話す活動を繰り返す。 ・聞き取った要点を書く活動は、会話が終わってから行うよう指示する。 <p><Class Evaluation></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめに設定した目標の達成度を確認させ、主体的に授業に取り組みさせる。
	<p>本時の活動を確認し、目標を設定する。</p>	<p><Goal Setting></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめに、本時の活動と目標を確認し、授業での英語使用度の目標を各自設定する。 <p><Peer-editing></p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿題で書き改めてきた英作文をペアで交換し、内容についてコメントや質問を書く。 						<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動と目標を確認し、主体的に取り組みさせる。 ・内容を膨らませ、英文を書き足すことが、重要であることを理解させる。

3	<p>相互訂正の仕方や内容の膨らませ方を学ぶ。</p> <p>書いた内容を発話して、語彙表現の定着を図る。何度もペアの相手を替え、実際の会話の場面で Conversation Strategies を使えるようにする。</p> <p>録音された会話を分析し、自己評価する。学習過程を明らかにし、主体的に英語学習に取り組むようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いた英作文から抜き出した、よくある間違いを相互訂正し、文法や表現を学ぶ。 ・ペアの相手を替えて2～3回行う。 <p><Timed-conversation></p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いたものを基に、4分間の対話活動を行う。会話が終わった後、相手が話した内容の要点を書く。 ・ペアの相手を替えて5回行う。 <p><Taped-conversation></p> <ul style="list-style-type: none"> ・4分間の会話をして、ビデオ録画する。 <p><Class Evaluation></p> <p>授業内の活動を評価する。</p> <p><Assignments></p> <p>Self-assessment</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話を録音したビデオテープを見て、2人の会話を全て書き出す。 ・録音した会話を分析し、自己評価をする。 <p>①文法的な誤りの自己訂正(3つ)</p> <p>②使用した Conversation Strategies の種類</p> <p>③ペアの相手から学んだこと</p> <p>④会話の自己評価と次回目標設定</p> <p>Fun-essay writing</p> <ul style="list-style-type: none"> ・fun-essay を書く。 <p>写真やイラストを添えて、迷惑行為についての英作文作品に取り組む。</p>	②	①	①	①	① 活動の観察	<ul style="list-style-type: none"> ・2回目の peer-editing では、内容面だけでなく、言語形式にも注目させる。特に、注意すべき文法項目や表現を提示し、その項目は相互訂正ができるように努力させる。 <p><Timed-conversation></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話活動を繰り返し行い、最後には英作文やワークシートを見ないで会話ができるように努力させる。 <p><Taped-conversation></p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話を録音する時は、英作文を見ないで会話をするよう指示する。 ・ Timed-conversation の練習とビデオ録画は平行して行う。 <p><Self-assessment></p> <ul style="list-style-type: none"> ・何度も聞き、できるだけ録音されている会話を再現できるように努力させる。聞き取れない単語があれば、辞書を用いて書くように努力させる。 ・学んだ点と、まだ学べていない点を書き出すよう指示する。 ・次回の目標を設定することにより、主体的に活動に取り組ませる。 <p><Fun-essay writing></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回書き改めた時よりも、英文の数が増え、内容が深まるように励ます。 ・英作文の作品は、廊下に掲示することを伝え、読み手を意識して書くように努力させる。
---	--	--	---	---	---	---	---------	---

4		<p><Goal Setting></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業のはじめに、本時の活動と目標を確認し、授業での英語使用度の目標を各自設定する。 <p><Timed-reading></p> <ul style="list-style-type: none"> ・家で仕上げてきた fun-essay をグループで交換して読む。2分間で読み、1分間でコメントを裏に書く。 ・グループ内 5 人の友達の作品を読む。 <p><Common Mistakes ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の英作文から集めた誤りを含んだ文を、どのように訂正したらよいかペアで考える。ペアで訂正の仕方を発表する。 <p><Class Evaluation ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業内の活動を評価する。 				①	ワークシートの記入状況	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の活動を確認し、授業での英語使用の目標を設定させ、主体的に取り組ませる。 ・友達の作品を楽しんで読む雰囲気を作る。 ・友達の作品から、読み手の興味関心を引くためにはどうしたらよいか、読み手が理解しやすい英文とはどんな英文なのか学ばせる。 ・どのように誤りを訂正したらよいかを考えることにより、言語形式に注目させる。 ・授業後、全員の fun-essay 作品を廊下に掲示して、自分のクラスだけでなく他のクラスの友達の作品も鑑賞できるようにする。
---	--	---	--	--	--	---	-------------	---